

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名称：PD遅延剤
製品番号(SDS NO)：34101102-3
供給者の会社名称：中日本高速技術マーケティング株式会社
住所：愛知県名古屋市中区栄2-3-31 CK22 キリン広小路ビル2階
担当部署：技術営業部
電話番号：052-228-8151
FAX：052-228-8152
緊急連絡先電話：052-228-8150(技術営業部)

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性：通常の手扱いは、有害性はない
環境影響：微生物等による分解性が良好と判断された物質
物理的及び化学的危険性：通常の状態では、危険性はほとんどない
特定の危険有害性：データなし
分類の名称(分類の基準は日本方式)：分類基準に該当せず

GHS 分類

物理化学的危険性：全項目とも「区分に該当しない」又は「分類できない」である。

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分5
皮膚腐食性・刺激性：区分3
眼に対する重篤な損傷、眼刺激性：区分2A
上記項目以外は「区分に該当しない」又は「分類できない」である。

環境有害性：全項目とも「区分に該当しない」又は「分類できない」である。

シンボル



注意喚起語：警告

危険有害性情報：飲み込むと有害のおそれ
軽度の皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き

安全対策：保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後は手、顔等よく洗うこと。

応急措置：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

保管：該当なし

廃棄：該当なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名：クエン酸（一水和物）

成分及び含有量：99.5%以上（無水物換算、無水物(C₆H₈O₇)として）

化学特性（化学式又は構造式）：C₆H₈O₇・H₂O

官報公示整理番号：化審法：2-1318

：安衛法：既存化学物質

CAS No.：5949-29-1

PRTR法：非該当

労働安全衛生法通知対象物質：非該当

危険有害成分：該当なし

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ、鼻腔を水で洗い、うがいをする。
- ・体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。
- ・製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく落とす。
- ・外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療処置を受ける。

眼に入った場合

- ・清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
- ・洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水がいきわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水でよく口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水又は牛乳を飲ませ、医師の手当てを受ける。
- ・被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水、粉末、炭酸ガス、泡

使ってはならない消火剤：データなし

火災時の特定危険有害性：データなし

特定の消火方法：・関係者以外の立ち入りを禁止し、適切な保護具を着用して、風上から作業する。

- ・周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
 - ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置を行う。
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・漏出場所の周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項：

- ・本品や廃液が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

- ・真空で吸い取る等、粉じんが飛散しない方法で取り除き、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ・換気の良い場所で取扱う。

- ・保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- ・取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- ・使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
- ・その他、該当法規に従うこと。

注意事項 ・みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。

- ・開封後は密閉し、速やかに使用すること。

安全な取扱い注意事項 ・アルカリ性物質との接触を避けること。

保管

適切な保管条件 ・容器を密封し、直射日光、高温、多湿、多段積みを避けて屋内に室温で保管すること。

- ・その他、該当法規に従うこと。

安全な容器包装材料 ・貯蔵タンク等は耐酸性の材質を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・できるだけ設備を密閉化し、局所排気装置の設置又は全体換気を適切に行うこと。
- ・取扱い場所の近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

管理濃度：設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会：設定されていない

ACGIH：設定されていない

保護具 呼吸器の保護具：防じんマスク

手の保護具：保護手袋(不浸透性)

眼の保護具：保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態：結晶、粒もしくは塊、又は粉末

色：無色透明又は白色

臭い：特になし

融点/凝固点：～100℃

沸点又は初留意点及び沸点範囲：データなし

可燃性：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：174℃

14. 輸送上の注意

国連番号：国連の定義による危険物に該当しない

品名(国連輸送名)：該当なし

国連分類：国連の定義による危険物に該当しない

容器等級：該当なし

国内規制がある場合の規制情報：該当なし

注意事項：・該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

・輸送前に、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

・特に高温多湿又は直射日光に曝される場所に長時間放置しないこと。

15. 適用法令

食品衛生法：食品添加物

薬事法：日本薬局方、医薬部外品原料規格

16. その他の情報

引用文献

15107 の化学商品(化学工業日報社)

化学大辞典 初版(共立出版)

化審法化学物質 改訂第2版 構造別分類番号 CAS 番号付与(化学工業日報社)

食品添加物公定書

THE MERCK INDEX, 11TH EDITION (MERCK & CO., INC)

THE REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES

(U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES)

THE SIGMA-ALDRICH LIBRARY OF CHEMICAL SAFETY DATA EDITION II

(SIGMA-ALDRICH CORPORATION)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

社内資料

注意事項

・現時点で入手できた情報に基づき作成しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。

・記載内容は参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

・注意事項等は通常の取扱いを対象としており、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

・新しい知見により、本データシートは改訂されることがあります。
